

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 1 区分
 【発行日】平成 17 年 9 月 22 日 (2005.9.22)

【公開番号】特開 2003-334564 (P2003-334564A)
 【公開日】平成 15 年 11 月 25 日 (2003.11.25)
 【出願番号】特願 2002-141865 (P2002-141865)
 【国際特許分類第 7 版】

C 0 2 F 1/52
 B 0 1 D 21/01
 B 0 1 D 35/06
 B 0 3 C 1/027
 B 0 3 C 1/029
 B 0 3 C 1/03
 B 0 3 C 1/033

【F I】

C 0 2 F 1/52 Z
 B 0 1 D 21/01 1 0 1 A
 B 0 1 D 35/06 A
 B 0 1 D 35/06 K
 B 0 1 D 35/06 L

【手続補正書】
 【提出日】平成 17 年 3 月 2 日 (2005.3.2)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

磁性体微粒子を含む凝集剤で、被処理水中の汚濁物を、磁性を持った浮遊固形物とし、被処理水の流れの中で、磁力により、前記浮遊固形物を被処理水から分離する浄化装置において、

非磁性材料からなる導管内の被処理水の流れを挟んで同極を対向させた状態で前記流れに沿った磁場を形成するように、前記導管に対してバルク磁石を接近させた状態で配置し、前記流路内を流れる前記浮遊固形物を、前記磁場を横切って前記流路の途中に設けられた浮遊固形物回収領域で捕捉するように、前記浮遊固形物回収領域に挿入されるフィルターを備えており、該フィルターは、複数組が交換用支持体に着脱可能にセットされ、前記交換用支持体の操作で、その 1 組が選択的に前記浮遊固形物回収領域に挿入され、前記バルク磁石の対は複数対あり、隣接する対とは、それぞれに対向する同磁極の向きが反対となるように、配置されていることを特徴とする、磁性体を用いた浄化装置。

【請求項 2】

前記フィルターの材料には、感磁性体を用いられ、それが所要のメッシュで編組された構成になっていることを特徴とする、請求項 1 に記載の磁性体を用いた浄化装置。

【請求項 3】

前記交換用支持体は、前記導管外に支軸を備えた円盤状回転部材であり、その一部が前記浮遊固形物回収領域に液密に挿入される構造になっていることを特徴とする、請求項 1 または 2 に記載の磁性体を用いた浄化装置。